

## 21日 火曜

### 箴言

20:15 金があり、多くの真珠があっても、知識の唇こそ宝の器。

20:16 他人の保証人となるときは、その人の上着を取れ。見知らぬ女のためにも、上着を抵当に取れ。

20:17 だまし取ったパンはうまい。しかし、後でその口は砂利でいっぱいになる。

20:18 協議によって計画は確かなものとなる。すぐれた指揮のもとに戦いを交えよ。

20:19 人を中傷して回る者は秘密を漏らす。唇を開く者とは交わるな。

20:20 自分の父や母をのしる者、そのともじびは、闇が近づくこと消える。

20:21 初めに急に得た相続財産は、終わりに祝福されない。

20:22 「悪に報いてやろう」と言ってはならない。【主】を待ち望め。主があなたを救われる。

20:23 異なる二種類の重りは【主】に忌み嫌われる。欺きの秤は良くない。

20:24 人の歩みは【主】によって定められる。人はどうして自分の道を悟ることができるだろう。

20:25 軽々しく「これは聖なるもの」と言い、誓願を立てた後で吟味する者は、罨にかかっている。

20:26 知恵のある王は悪しき者をふるいにかかけ、彼らの上で車輪を引き回す。

20:27 人間の息は【主】のともじび。腹の底まで探り出す。

20:28 恵みとまことは王を保つ。恵みによってその王位は支えられる。

20:29 若い男の栄誉は彼らの力。老人の輝き



はその白髪。

20:30 傷つくまで打てば、悪は取り除かれる。腹の底まで打ちたたけば。

保証人になるときは、貸し手に迷惑がかからないようにすることも重要です。貧しいやめのような「見知らぬ女のために」保証人なるときも、やはり「抵当」を取るよう勤めています。それも貸し手に迷惑がかからないようにするためであり、借りての社会的責任を保持するためでもあります。（ただしユダヤの規定では、着物を抵当に取った場合は日没までに返さなければなりません。貧しい人の生活も守られるべきです。）

「協議によって計画は」とありますから、自分が独善的にならないようにしましょう。「父や母をのしる者」も、自分は正しいと思つてのことが多いでしょうが、独善的になっている場合があります。

「急に得た財産」もどこから来たのか考えましょう。主から来たのですから、主のみ旨にしたがえば、祝福があります。主を中心に考えるなら「悪に報いる」必要もありません。主に誓願を立てたなら、吟味（再考）の余地はありません。それを果たすまでです。

「若い男」も「老人」も、それぞれに「輝き」や「栄誉」があります。年齢にふさわしく、そして年齢に負けないで、良い自己像を持って歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

